

HomeDry News

ホームドライニュース No.105

19世紀アメリカのしみ抜き剤



Smith Brothers chemically pure borax 1870年

これは、19世紀末のアメリカの化学製品メーカーが発売した洗濯用しみ抜き剤の広告絵画です。しみ抜き剤の成分は、硼砂(ほうしゃ)となっています。硼砂は今でもしみ抜きに使われることがあります。

この広告には、丁寧な使用方法を記した説明書があり、洗剤との組み合わせによる洗濯方法が書かれています。

中央の婦人は、メイドに持たせた白いドレスのシミに硼砂をつけています。またその右の黒人メイドは洗濯しながら眺めています。左の女性は、解説書に書かれてあるゴキブリ駆除にも硼砂を使っているところが描かれています。



NOTE: SMITH BROS., Owners of the Borax Mine, guarantee the package put up under their Trade-Mark, as being PURE AND HARMLESS.

DIRECTIONS:
WASHING.—Dissolve one level tablespoonful of Borax in hot water for every half-dozen articles of the most soiled clothes, and rub on the soiled through new water after rubbing down the pieces into a full scalding boiling water and Borax, but do not remove them until the second lot of clothes is being washed. Use the same plain water—do not boil the clothes.

STARCHING.—Use one-half ounce Borax to one pint boiling water, add quantity to the glue, a fact not generally known.

TO PREVENT MOTHS.—Mix one ounce with the powder before laying down the carpets, and put it with the clothes when packed away.

REMOVING COCKROACHES.—Sprinkle Borax liberally over the carpets, or on the floor, and use your hands as you walk over them.

RUDDY FACE OR CHAPPED HANDS.—One table-spoonful pulverized Borax to one quart hot water, apply night and morning with a soft sponge or cloth.

DRESSING GLEETS, WOUNDS, BRUISES, SPRAINS, CHILBLAINS and Removing Inflammation.—One table-spoonful Pulverized Borax to one pint hot water, saturate a piece of lint with same, holding it up to the eye, use for the cure.

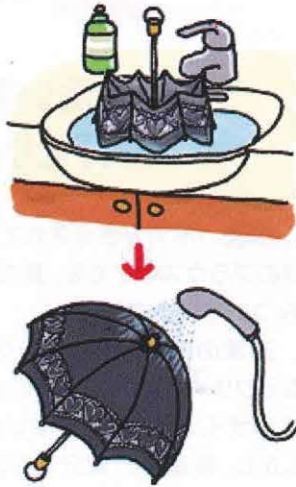
FOR BATHING.—Ateax and Pulverized Borax to the bath, one ounce of each. It is equally good for the tub and children.

ARRESTING FERMENTATION.—One-half ounce pulverized Borax to one quart weak or still, will prevent them perfectly sweet.

CLEANING CLOTHES.—One table-spoonful to one pint of hot water, when cold, use instead of Ammonia or Soda.

WM. T. COLEMAN & CO.,
SOLE AGENTS,
Cal., California & Front Sts., No. 470 Pearl Street,
SAN FRANCISCO N.Y. NEW YORK
BOLD BY THE PRINCIPAL BOOKER & DRUGGIST.

洗面所の洗面ボールか、ポリバケツに洗剤液を用意します。洗剤は衣類用か台所用の中性洗剤です。使用濃度より薄い液で十分です。洗液の温度はお風呂の温度ぐらい(40~42度)がいいでしょう。その液に、折りたたんで布地がヒラヒラとした状態で、布地の部分が全部浸かるように浸けます。それから、柄の部分を持って、振り洗います。汚れの



目立つ部分は、予め、液体洗剤を直接塗布し、揉みだしておきましょう。その後、生地に残った洗剤液をキレイに落とすために、シャワーを利用します。

すずぎはお風呂場を利用します。日傘を開いた状態にして、洗い場に置きます。シャワーの勢いを強くして、傘の生地から15cm程度離してシャワーですずぎます。すずぐというよりも、シャワーの水で通過洗浄する勢いで、生地に残った洗剤液を洗い落とすと思って下さい。十分にすずぎたら、そのまま、しばらくお風呂場に開いた状態で置いておき、余分な水分が流れ落ちるのを待ちます。

傘から水分がしたり落ちなくなったら、室内か、風のない日であれば、ベランダの直射の当たらないところに陰干ししましょう。室内に干す場合は、エアコンをつけ、除湿かドライ運転しましょう。

完全に乾いたら、キレイに折りたたんで、しまってください。この時、和紙で包んでしまうと良いでしょう。和紙はロール状の障子用和紙を1本用意しておく、色々なものの収納の際に役に立ちますので、是非、1本用意しておいて下さいね。



- ファッション・ワンポイント:
日傘のお手入れ
- 絵画の中の洗濯風景:
19世紀アメリカのしみ抜き剤
- 衣類のケア講座:
衣類のリサイクルを考える
- 衣生活の知恵:
水洗い禁止でも汗抜き処理を



衣類のケア講座

SDGsに協力しましょう 衣類のリサイクルを考える

現在、不要衣料品は集団回収や資源回収が行われていますが、その回収量はほんのわずかです。ほとんどは「ごみ」として捨てられているか、「たんす」の中に保管されています。



私達は1年間におおよそ1世帯当たり20kgの古布や古着を出しているといわれています(国民生活センター)。このうち廃品回収業者等に回収されているのは、わずか10%程度にすぎず、90%は捨てられています。

これらを回収することは、「ごみ」を減らすことにもなるのです。

繊維製品の大部分は、再利用することができます。それらをそのまま廃棄してしまうと、天然資源や石油資源の浪費になりますし、焼却、埋め立て等で処理すると、環境汚染の原因となります。そこで、衣料品のリサイクルが大切になるのです。

繊維や縫製の工場で出される繊維くずや、回収された古布や古着は、次の三つに分けられ再利用されます。

- ①工場の機械等の油ふきに使われる雑巾(ウエス)。
- ②羊毛の素材を、30種ほどに色分けしてわた状に戻し、毛糸や毛織物にし、セーター、オーバー、じゅうたん等に再利用します。羊毛以外のものは、フェルト、不織布等に再生します。クッション材等として、自動車、家具等に利用されます。
- ③形が整い、しみや汚れのないものは、振興開発国等に輸出されています。背広から肌着にいたるまでさまざまなものがあります。

最近では、リサイクルショップやネットのフリーマーケットで再使用する動きも見られ、個人でのガレージセール等も増えてきています。



また、清涼飲料水等のペットボトルを再利用したポリエステル素材の衣料等も売られています。スキージャケット等の防寒衣料として出回り、軽い、温かい、手入れが楽等と好評です。今後、製造者にはリサイクルしやすい素材や技術の開発に取り組むことが求められています。消費者も、回収に協力し、できるだけリサイクルを心掛けるようにしましょう。



水洗い禁止でも 汗とり処理を

水洗い不可と表示されているウールのスーツやシルクのブラウスなどでも、夏の衣料にはたっぷりと汗が染みついています。

通常のドライクリーニングは、文字通り水洗いとは異なるクリーニング方法です。多くの繊維製品は水によってデザインが変化しやすいためドライ処理をしています。しかし、多量の汗成分などの水に溶けやすく油性となじまない物質には十分に作用しません。

メーカーの表示で、水洗い禁止と表示されている夏物衣料は、そのままでは毎年の汗汚れが繊維に蓄積されてしまうこととなります。

ドライクリーニングで落としにくい汗汚れも通常の水洗いではなく、マイルドにきれいにする特殊な水洗いの技術がプロのクリーニングにはあります。デザインによっては困難なものもありますのでお店にご相談下さい。

